

小林製薬の東日本大震災復興支援活動  
復興を祈念し、11年で累計865本の桜を植樹

小林製薬株式会社（本社：大阪市、社長：小林章浩）は、東日本大震災における復興支援活動の一環として、2013年より宮城県と連携して宮城県内の運河群沿いに桜を植樹する活動を行ってまいりました。

本年の植樹会では、3月18日に東松島市南北上運河に48本の桜を植樹し、これまでに植樹した桜は累計で865本になりました。



【植樹活動の様子】



【開花した桜（2022年4月）】

当社ではパーパス「見過ごされがちなお困りごとを解決し、人々の可能性を支援する」を掲げ、さまざまな社会課題解決に取り組んでいます。

東日本大震災における復興支援として、宮城県と連携し、桜並木が復興のシンボルとなることを祈念して、津波で甚大な被害を受けた宮城県内の運河群沿いへの桜の植樹活動に取り組んできました。

宮城県の復興事業が概ね終了したことを受け、植樹会は本年をもって終了となります。植樹をした桜が毎年花開き、地域の皆様に愛され続けることを願っています。

当社は今後も企業活動を通じて地域社会のお困りごとの解決に貢献してまいります。

### ■当社参加者の声（氏名：七條 純 職種：広報）

2015 年からこの活動に参加し、宮城県と連携して桜の植樹活動に携わってきました。

植樹会を楽しみにして毎年ご家族で参加いただいた方、自分が植えた桜が咲いたか翌年見に行かれた方など、地域の皆さまに喜んでいただいている様子を見る度に、胸にこみ上げてくるものがあります。

東日本大震災から 12 年が経ちましたが、被災した地域にはまだまだ様々な課題があります。桜の植樹会の活動は本年度で終了となりましたが、引き続き別の形で地域の皆さまのお役に立てていければと思います。



### ■植樹活動の経緯

2012 年に当社で実施した、売上の一部を寄付する消費者キャンペーン「小林製薬・青い鳥基金」で積み立てた寄付金を含む、5,000 万円を宮城県に寄付いたしました。

2013 年より「震災復興祈願 桜の植樹会」として植樹活動を開始し、2015 年から主管を宮城県に移して官民連携で植樹会を開催してきました。毎年 3 月に、当社社員が市民ボランティアの方々と共に、復興への願いを込めたメッセージプレート添えた桜の苗木を植樹してきました。

### ■これまでの取り組み

 <p>100 本</p>	 <p>60 本</p>	 <p>41 本</p>	 <p>44 本</p>
2013 年 仙南浄化センター	2014 年 岩沼海浜緑地 (南ブロック)	2015 年 多賀城緩衝緑地	2016 年 貞山公園・石井閘門
 <p>143 本</p>	 <p>68 本</p>	 <p>64 本</p>	<p>297 本</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大により、宮城県のみで植樹を実施</p>
2017 年 北上運河	2018 年 岩沼海浜緑地 (北ブロック) ・明治潜穴公園	2019 年 仙台港多賀城地区 緩衝緑地	
 <p>48 本</p>	2023 年 南北上運河		

— 本件に関するお問い合わせ先 —

小林製薬株式会社 広報・IR 部

広報 1 グループ (大阪) : TEL 06-6222-0142 広報 2 グループ (東京) : TEL 03-5602-9913

MAIL : kobayashi-kouhou@kobayashi.co.jp